

# 大特撰樂譜

第百三十四篇

## 冬の夜の 里の小川

犬童球溪詩  
佛蘭西少年歌

傳田治朗作詩  
シユエーベン民謡

主幹原田比古士良  
成樂會編

### 山の電氣

葛原 滋作歌

遠い山道迷はず来たよ  
お山の上の七軒村の  
家毎に來たよ 日はまだあるに  
來たよ來たよ 明るい電氣  
七軒毎の電氣の下に  
大きい小さい笑顔が並ぶ  
向の家に 後の家に  
ごこの家にも明るい電氣  
山のお寺の日暮の鐘が  
谷にひびかず 聞えぬ中に  
時間を守り來たよ來たよ  
七軒おなじ 明るい電氣

- ピアノ獨奏新名曲 君が代シツクスヴァリエーション (一〇〇)
- ピアノオルガン獨奏曲 ヲーターロー 戰鬪曲 (五〇)
- ピアノ獨奏名曲 ウェーベル作嵐の曲 (八〇)
- ピアノ獨奏名曲 憶ひ出 (一五)
- 大正十四年度 新曲雜誌 (半ヶ年六十錢) 第一號より連載  
東音入學問題は
- 全國音樂教育家名鑑は 新曲雜誌 第二號より每號連載
- 特選小學 新曲雜誌 第一第二第四集 (各三〇)
- 第五、第六集は十月及十五年一月發行(各三〇) (第三集賣切)
- これは各學年向其季節の新教材集本故特におすゝめ致します
- 小學校の秋の音樂會に光彩を添へる歌曲 (全部伴奏附)
  - 高學年男二部 山が火を吐く(な) (三) 高學年男獨唱 テクキマム (三)
  - 高學年男合唱 健兒よ來れ(五) 低學年用 ヒヨコ(な) (一)
  - 女兒獨唱 舞踊附 風の小鳥 (二〇) 高學年女獨唱 白露 (二〇)
  - 中學年女兒獨唱 かくれんぼ (二〇) 高學年女兒獨唱 刈馬 (二〇)
  - 中學年女兒齊唱 針 (二〇) 低學年用 お父さんのおくつ (二〇)
  - 中學年用 コスモスポート (八) 低學年用 ポチとタマ (八)
- 月刊特選少女樂譜 半ヶ年會費五十錢  
専ら五以上高女一二年以下の適材を最も優美なる体裁によつて紹介す

### 大特選樂譜

既刊最近號

第一三二編 獨唱 此里此園

かたれる黄菊白菊の……

第一三三編 三部 幼な日の憶ひ出

鬼討ち平らげ 數多の寶

取り來し遊戯を勇みてなせし……

### 少女樂譜

九月號 第廿八編 峠の上から (齊唱)

峠の松までのぼつたら……

十月號 第廿九編 こぼろぎ (童謡)

こぼろぎころ／＼おもしろく……

……附 奧 譜 樂 撰 特 大……

大正十四年十月一日印刷  
大正十四年十月五日發行 【非賣品】  
會費一枚十二錢特別送料三錢  
毎月頭姉妹編二枚一組發行  
半ヶ年會費送料共一圓廿五錢

編輯兼 原田彦四郎  
發行者 樂譜印刷研究所  
印刷所 右代表者 大橋利康  
福岡市大學通り二丁目  
發行所 成樂會  
靜岡市東鷹匠町五二  
振替名古屋一〇二四八番

東京 東京市外田端三四六  
事務所 中井博士邸内原田  
團體前金申込特別大割引  
是非一度乞御照會

# 里の小川

傳田治期作  
シユエーベン民

ゆつたりと、  
mf

タニ アヒノ  
をリ をリ の

サト ナ  
は な を

セセ ラギ ナシ  
も み ち を う つ

テシ

ナガレユク  
し づ か な る

チガハ  
さ が と を

ナツカ シツレ  
な が る る を が

ハ

コウチ  
お の が

ス ク ヒ  
む ら の

ト ラ ン  
さ ち は

ト シ  
す へ て

イナクタビカ  
が み づ の

ナレチ  
ふ か き

ニゴシ  
め ぐ み

シ

カハヨ  
か は よ

カハヨ  
か は よ

サトノ  
さと の

チガハ  
ち が は

# 冬の夜

佛蘭西少年歌  
犬童球溪詩

温和に

マドチ  
と ほ く

タク  
たい

クア  
くの

ラシ  
さけ

シ  
び

マドチ  
と ほ く

タク  
たい

ク  
く

ヨハ  
いぬ

ノ  
の

ア  
あ

ラ  
ら

サムキ  
みに

コ  
り

ノ  
の

ユメ  
を

チ  
ぢ

サ  
さ

マ  
ま

ス  
す

シ  
び

サ  
さ

ム  
み

キ  
に

ホ  
い

ヤ  
り

ノ  
の

ユ  
を

チ  
ぢ

サ  
さ

マ  
ま

アハレサ  
ハレサ

シヤ  
シヤ

フユノヨ  
フユノヨ

ナ  
ナ

カ  
カ

フ  
フ

ユ  
ユ

# 大持撰樂譜

第四百二十五冊

工.ア.マリオ作曲

獨唱曲  
新作伊國  
**さらばナポリ**

下位 大童 西氏譯歌

主幹原田此古士良  
**成樂會編**

大正十三年度 入學試験問題全集 (三〇)  
東京音楽學校  
東音入學 聽音新曲二百題 (七〇)  
文檢受驗  
大正十四年 夏講特選小學唱歌集 (一〇〇)

月刊 蘭樂譜 (一學年用) (二學年用) (三學年用) (四學年用)  
女學唱歌  
專ら全國各高等女學校生徒音楽教室用として編纂せるもの

月刊 特選新曲雜誌 大正十四年六月創刊 會費半々年六十錢  
大版四頁初等中等新作名曲數種及東音入學文檢受驗手引解答樂式  
和聲作曲講義其他金玉の文字網羅八頁(樂譜のみ團體大割引)

◎文檢受驗準備法及問題解答は新曲雜誌第一號より每號連載

中等學校の秋の音樂會にせひやっていたい歌曲 (全部伴奏附)

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| △三部合唱 御國の眺め (三〇)  | △二部合唱 四季 (二五)    |
| △青年の歌 春 (一〇)      | △二部 御代萬歲 (一〇)    |
| △獨唱 晚秋 (一〇)       | △獨唱 月夜光 (一〇)     |
| △獨唱 玲瓏の曲 (一〇)     | △二部 秋夜 (一〇)      |
| △三部 秋夜懷郷 (一〇)     | △二部 秋は來る夜 (一〇)   |
| △三部 夜明けの富士 (一〇)   | △四部 登る旭 (一〇)     |
| △四部 しゃぼん玉 (一〇)    | △三部 晚秋山行 (一〇)    |
| △二部 御代萬歲 (一〇)     | △獨唱 新スイトホーム (一〇) |
| △二部 御代の春秋 (一〇)    | △四部 さらめく星 (一〇)   |
| △四部 重權兵工と田吾作 (一〇) | △獨唱 さらば故郷 (一〇)   |
- 九月號以降の「大」鈴「小」雜「特」におすゝめ致します

- 小學生新唱歌目次 (錢十三)
- 1、月の夜 低學年向
  - 2、流れ星 中學年向齊唱曲
  - 3、なき 中學年向齊唱曲
  - 4、露 獨唱及齊唱高學年女向
  - 5、豊年 二部輪唱高學年向
- (第五集十月一日發行)

里の小川 傳田治朗作詩

一、谷あひの里を せせらぎなして  
ながれゆく小川 なつかし我れば  
小魚すくひ さらんとして  
いくたびか 汝をにこしし  
川よ里の小川 流れよきはに  
わが友となりて

二、折々の花を もみちをうつし  
静かなる里を ながるる小川  
おのが村の 幸はすべて  
汝が水の 深きめぐみぞ  
川よ川よ里の小川 ながれよ永久に  
村人をめでて

冬の夜 大童球溪詩

一、窓をたたく夜半の嵐  
寒き床の夢をさます。  
あはれ淋し冬の夜半 冬の夜半。

二、遠くひびく犬の叫び  
耳に入りて眼を醒ます。  
あはれ寂し冬の夜半 冬の夜半。

.....附 典 譜 樂 撰 特 大.....

大正十四年十月一日印刷  
大正十四年十月五日發行 【非賣品】

會費一枚十二錢特別送料三錢  
每月頭姉妹編二枚一組發行  
半々年會費送料共一圓廿五錢

編輯兼 原田彦四郎  
印刷所 樂譜印刷研究所  
右代表者 大橋利康  
福岡市大學通り二丁目

發行所 成樂會  
靜岡市東鷹匠町五二番  
振替名古屋一〇二四八番

東京 東京市外田端三四六  
事務所 中井博士邸内原田

團體前金申込特別大割引  
是非一度乞御照會